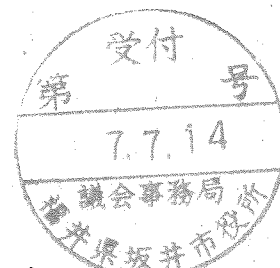


視 察 研 修 報 告 書



令和7年7月14日

坂井市議会

議長 佐藤 寛治 殿

会 派 名 チャレンジさかい
報 告 者 三宅小百合

1. 日 時

令和7年6月26日（木）～6月27日（金）

2. 視察研修先

東京ビッグサイト 東京都江東区有明 3-11-1

3. 視察研修内容

国際ウェルネス ツーリズム EXPO・観光 DX・マーケティング EXPO

4. 参加者

三宅小百合

5. 内容詳細

【展示内容】

- ・ウェルネス施設・ウェルネスアクティビティ
- ・ウェルネスプログラムを提供する旅行会社・ワーケーション施設
- ・医療施設・クリニック・旅行・ライフスタイルメディア
- ・健康・美容・フィットネス・富裕層向けなどのライフスタイルメディア他

【セミナー】

① 「ウェルネスツーリズム 2025 ～基礎知識から海外の注目事例まで～」

ウェルネスツーリズムとは、旅行や観光を通じて心身の健康やリラックスを目的とする、新しい形態の観光産業である。一般的な観光とは異なり、健康や美容、精神のリフレッシュなどを目的としたプログラムや施設を提供している。メディカルツーリズムやダイエットプログラムなどや、自然豊かなロケーションでのヨガやピラティスなどのアウトドアエクササイズ、食事指導や栄養学の講座、瞑想などの精神的なプログラムも提供されており、ウェルネスツーリズムは、ストレス社会で生活

する人々が心身の健康を保ち、リフレッシュするための手段として注目されている。また高齢化が進む社会において、健康を維持するための旅行が拡大することが期待されている。

② 「世界に誇る日本の文化 ～「温泉」の魅力と温泉地活性化のヒントを探る～」

小山薫堂が拓いた湯道は、日本人が日常の習慣として疑わない「入浴」という行為から世界類稀なる生活文化として世界に発信している。また「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産全国推進協議会専務理事からユネスコ無形文化遺産に登録するための進捗状況を聞くことができた。国内では温泉について杏林大学で学ぶことができる。当たり前だと思っていた温泉文化が確立してきた。

③ 「日本の“道”が、世界を魅了する

～歩く旅がひらくアドベンチャートラベルの可能性～

世界的な自然・健康志向の高まりやサステナブル意識の高まりにより、自然文化体験型観光としてのアドベンチャーツーリズムが注目されている。旅行者が地域独自の自然や地域のありのままの文化を、地域の人とともに体験し、旅行者自身の自己変革・成長の実現を目的とする旅行形態である。時速4キロの歩く旅で日本の日常に触れるウォーキングにも注目が集まっている。

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/810001853.pdf> (観光庁 HP)

④ 「旅行者を引き寄せる！ウェルネスツーリズムのマーケティング戦略」

タイではスパで世界中から旅行者を集めてきたことから、国を挙げてヘルスツーリズムに取り組んでいる。日本は世界一のウェルネスツーリズムとしての観光資源がある。日本の日常を体験できるコンテンツの提供が必要である。限界集落や忘れられた温泉郷など自然な環境が好まれる傾向にあり、知識層のインバウンドの消費額は高いが高級志向ではない。

また宗教ではないがスピリチュアリティに興味のある人が多い。歴史的な古さや知識を求めているため、その要求に応えるコンテンツが必要である。宿泊施設は国際チェーン店より独立系ホテルを求めるため、日本の無名のホテルを好む傾向がある。身体を動かすことが好きな人が多いので、森歩き、農業体験、文化体験等のガイドランスを用意することが必須である。

6. 所感・感想

日本是世界一のウェルネスツアーの観光資源があることから、坂井市にもウェルネスの大きな可能性を感じた。例えば三国湊エリアには国内有数の寺社が点在していることや、八十八か所巡りが現存していること、笏谷石で彫られた狛犬が豊富にあることや、豊原寺から白山禅定道を歩くアドベンチャーツアー、瀧谷寺での修験道

体験など本市のポテンシャルは高い。すでに実施されている丸岡城での宿泊体験などウェルネスの視点で数多くのツアーが醸成できる。また 6 月補正で上程された共創プロジェクトからも新たなビジネスが誕生することが期待される。

7. 添付書類

